

2023年度 事業報告書

NPO 法人 CIL ひこうせん

理事長 小林稔

電話番号 048-555-1100

1. 事業の成果

2023年度の事業の特記事項としては、設立20周年を迎え、記念式典をはじめ、記念誌の発行、記念品の作成、国内4か所への記念旅行、ひこうせんアーティストの絵をデザインした横断幕の作成、記念動画の作成などの記念事業を実施してきました。この記念事業を行うにあたり多くの皆様から協賛金をいただき、無事に行うことができました。賛同していただいた皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。また力を合わせ一丸となってこの記念事業を行うことによって、ひこうせんの結束をより深めてきました。これから先も25周年、30周年へと、持続していけるひこうせんを目指します。そして記念動画の中で出演メンバーにそれぞれの夢や幸せを語っていただきましたが、こうした一人ひとりの夢の実現や幸せ作りに貢献できるように、「誰もが自分の夢を実現できる社会を目指して」という理念のもとに引き続き支援してきました。また、共同生活援助・絆から1名が、ひこうせん関係者によるバリアフリータイプのアパートに移りました。地域で自立生活を送る障害者への自立支援を行うというひこうせんの役割を果たしました。

そして、こころの耐震補強の新建築物が完成いたしました。これで全ての施設のハード面における課題がクリアされました。また2024年度から義務化されるBCP計画（業務継続計画）の策定にあたり、各施設、各ホームの備蓄品を整備いたしました。これらにより災害時に備えた安心・安全の確保がより強固なものとなりました。

各事業の成果は次の通りです。

① 自立生活支援事業

自立を目指す当事者に対し、的確に対応し、地域で自立生活を送る障害者を支援しました。自立生活について理解を深め、意欲を高められるように「ILP」（ミニILPを含む）や「虐待防止・身体拘束適正化研修」を実施してきました。

自立相談室「キムヒロ」は相談者及び家族の自立や一般就労等の希望を実現できるように支援し、「こころ」の利用者から1名、一般企業に就労することになりました。

「文学・歴史・美術・現代社会・人の品格等の知識や教養を高める」障害を問わず誰

でもが学べるサロン「ILP with Salon ミネルヴァ」(月に一回の予定)をコロナ感染状況を踏まえながら実施してきました。

自立支援研究所は今後の在り方について検討してきました。

② 介助派遣及び移送サービス

介助派遣事業では、地域で自立生活を送る方たちの生活を支援すべく、全力で取り組み、サービス提供責任者の配置やアシスタント・職員ともに質の高い支援が行えるよう、質の向上を図ってきました。新型コロナウイルス感染症が5類になり、外出の依頼が増えていく中、アシスタントのスムーズな派遣、アシスタントの技術や対応の改善・指導の実施、現場の課題の把握、問題の解決、アシスタント不足の解消に努めました。交通事故を絶対に起こさないという目標を掲げ、取り組み、2023年度も交通事故はありませんでしたが、外出先での転倒・転落の事故が2件ありました。

また行動援護研修を実施し、強度行動障害の障害者への派遣を増やすことが出来ました。

③ 障害者・高齢者及び児童の権利擁護活動

障害者への虐待を防ぐべく、虐待防止・身体拘束適正化研修を行い、障害者・高齢者及び児童の権利擁護活動を行ってきました。

虐待防止対策として、虐待防止・身体拘束適正化委員会の開催、全従業員(職員・パート・アシスタント)を対象に、全体研修1回、ワークショップ形式の研修1回、計2回の研修を実施しました。また「行田市障がい者差別解消条例」策定に委員を派遣し12月の条例施行まで尽力しました。また家庭内で発生した虐待事例等に対し、ひこうせんとして可能な限りの支援を行いました。

④ 福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業

福祉の店「きゃんばす」の運営など市内障害者団体と協議して、福祉施策の促進を図りました。ふれあいまつり、スポーツレクリエーションなどの催しに参加し、市内福祉団体との連携・交流を深めました。

まちづくりでは、行田市公益活動推進委員会に引き続き参加し、積極的にまちづくりに提言を行いました。行田市美術展に、アートメンバーの作品を出品し、広く市民にアピールすることが出来ました。

⑤ 障害者児福祉サービス事業

就労継続支援B型、生活介護、自立訓練とサービスの種別による取り組みの違いを利用者のニーズに合わせ、実施してきました。入浴サービスや機能訓練・生活訓練など必要なプログラムの確立、自前の厨房による昼食の提供を実施してきました。

多機能型事業所「グランディール」では、散歩やドライブなどを実施し、利用者の特性に合わせて、楽しい日中活動としての取り組みを実施してきました。「ビギン」では、限られた期間になりますが、各自に合わせて自立に向けた訓練を実施してきました。生活介護「アンフィニ」では、利用者の作業をパソコン作業に特化し、生活のクオリティを高めることが出来ました。また利用者がパソコン作業以外でも楽しめるようにゲーム大会などの独自の企画を考え、実施しました。ショートステイ「ルポ」では、利用者が徐々に増え、利用される方の特性に応じた受け入れ体制の確立に努めました。「こころ」は新こころ棟で従来のアート・アート作品やクラフト製品の制作に加え、陶芸制作を新たに導入しました。メンバーの工賃アップや訓練として、そのほかにカフェの経営、内職の受注、リサイクル事業などを実施しました。

「amp かわいいサミット」は、2023年度も八木橋百貨店様のご厚意で、新型コロナウイルス感染対策を実施しながらでしたが「第14回 amp かわいいサミット」が開催できました。新型コロナウイルス感染症が5類になったことを受けて、土日のみでしたがパフォーマンスを実施した賑やかな amp の開催となりました。

共同生活援助・絆では多様な入居者の要望にできるだけ対応しながら、安全・安心に生活が続けられるように取り組みました。各ホーム責任者会議を月1回開催し、ホームで生起する諸問題の解決を図ってきました。1名がひこうせん関係者によるバリアフリータイプのアパートに移られ、1名は退去されて、新たに2名の方がご入居されました。

⑥ 児童福祉法に規定する児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業

放課後等デイサービス事業「ぴーす」は、日中活動の「自立訓練」とも連携しながら自立に向けた個別支援計画を作成し、療育を行ってきました。1名の利用者が、6月より、絆のホームに入居され、ご家庭、学校、ホーム、放課後等デイサービスの4者の連携の元、生活されることになり、「ぴーす」での療育が大きな役割を果たしました。

⑦ 広報活動としてひこうせん通信を年12回発行し、ホームページやフェイスブック、ブログ、Instagram、YouTube、LINE公式アカウントなどを使った広報活動を実施しました。またエキサイティングツアーの実施、コロナ禍になり中止していた一堂に会するみんなの広場も実施し、その後各施設で分かれてのみんなの広場弁当の際はピンゴゲームなどのレクリエーションを企画・実施しました。

2 事業の実施に関する事項(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 特定非営利活動に関わる事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	決算額
自立生活支援事業	自立相談室「キムヒロ」の運営	週5回	法人事務所	2名	行田市周辺市民 107名	2,727,801
介助派遣及び移送サービス	レスパイト輪の運営 (生活サポート事業)	通年	利用者の自宅及び 外出先、法人事務所	140名	行田市周辺市民 162名	15,742,954
	居宅事業所 パーソナルアシスタント ぎょうだの運営	通年	利用者の自宅及び 外出先、法人事務所		行田市周辺市民 86名	219,370,916
介護保険事業	パーソナルアシスタント ぎょうだの運営	通年	利用者の自宅及び 外出先、法人事務所	5名	行田市周辺市民 2名	603,938
障害者・高齢者及び 児童の権利擁護活動	人権に関わる相談及び活動	週5回	法人事務所及び相 談者の自宅	2名	行田市周辺市民	0
	「行田市障がい者差別禁 止条例」の制定に向けて の活動	随時	法人事務所及び関 係機関	7名	全行田市民	0
福祉、教育、まちづく りへの啓発・提言事 業	新たな公共システムや街づく りの提言活動	随時	法人事務所	5名	全行田市民	0
障害者児 福祉サービス事業	就労継続支援B型 創楽・それいゆの運営	週5回 4月1日～ 3月31日	こころ	7名	行田市周辺障がい者 30名	45,925,325
	生活介護 径の運営		グランディール	20名	行田市周辺障がい者 30名	49,383,604
	自立訓練 ビギンの運営			10名	行田市周辺障がい者 10名	12,282,023
	生活介護・短期入所 アンフィニ・ルポの運営		アンフィニ	10名	行田市周辺障がい者 28名	45,821,933
	共同生活援助 絆の運営	通年	6つの夢	37名	行田市周辺障がい者 7名	25,471,885
			なかまの家		行田市周辺障がい者 6名	19,260,798
ほうき星			行田市周辺障がい者 7名		17,474,691	
児童福祉法に規定する 児童発達支援事業 及び放課後等 デイサービス事業	放課後等デイサービス 「びーす」の運営	週5回 4月1日～3月31日	びーす	9名	行田市周辺障がい児 10名	14,921,549
その他	ひこうせん通信の発行	毎月1回	法人事務所	3名	埼玉県内外一般市民 及び団体年6000部	0
	ホームページの管理	通年			埼玉県内外	0
	防災対策の強化	随時	法人事務所	7名	ひこうせん利用障がい 者	0

※ 生活ホーム事業、就労及び生活・社会参加支援事業は、障害者児福祉サービス事業に統合して実施しています。